６月号　　令和５年５月３１日

京橋朝海幼稚園園だより

絵本からつながる国語力

園　長　　眞家　順子

子供たちは絵本の読み聞かせが大好きです。学級活動で、絵本の読み聞かせが始まると、話の世界に引き込まれ、教師の持つ絵本に視線が釘付けになっています。読み聞かせを通して、本を好きになってほしいと願っています。本は子供の成長を促し、人生をよりよく生きる力があるからです。

よりよく生きる力として、

１．　想像力が育まれる
２．　言語能力が高まる
３．　感情が豊かになる
４．　集中力が上がる

と様々なよい点があげられています。

中央区では、子供が本の「楽しさ」を生涯持ち続け、自ら進んで読書に親しめるように読書活動推進に取り組んでいます。本を親しむことで、国語力が身に付くことを願っているからです。

これからの時代に求められる国語力とは、「考える力」「感じる力」「想像する力」「表す力」「国語の知識」「教養・価値観・感性等」で構成される、日本語を運用する総合的な力を意味します。これには、漢字や慣用句の知識、さまざまな情緒に関する表現を理解したり使ったりする力、論理的思考力、読解力、設問に適切に答える解答力なども含まれます。国語力が身に付くと、例えば、新聞で知った情報に問題を見いだし、それを調べて考えることにより、問題を解決し、理解することにつながっていきます。この力は、情報が溢れた社会環境に育つ子供たちにとって、その情報が正しいかどうか取捨選択する力にもつながり、これからの予測不可能な社会を生きていく上で大切な力といえます。

読書で育まれる力と、国語力の「考える力」「感じる力」「想像する力」「表す力」は、いずれにも関連しており、文部科学省も国語力を高める上で、読書が極めて重要であることをあげています。

改めて、読み聞かせを通して、絵本の魅力を十分味わう活動の重要性を感じます。幼児期に、絵本を読んでもらって楽しかった、もっと読んでほしい、絵本の世界は素敵という気持ちを大切にし、本を読む楽しさの素地を育みたいと思います。

＜今月の学年の目標＞

☆３歳児めだか組　・自分のしたい遊びを見つけて遊んだり、教師や友達と一緒に過ごしたりすることを楽しむ。
・園生活の仕方が分かり、身の回りのことを自分でしようとする。

☆４歳児いるか組　・自分の思いを表しながら、友達と一緒に遊ぼうとする。
・教師や友達と触れ合いながら学級のみんなで遊ぶことを楽しむ。

☆５歳児かもめ組　・友達との遊びの中で自分の思いを出したり、相手の思いを聞いたりしながら一緒に遊ぶことを楽しむ。
・栽培物に興味をもち、生長や収穫を楽しみにして、進んで世話をする。